

第467回白石市議会定例会 一般質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	8番	新風未来の会 四 竈 英 夫	1. 能登半島地震に対する支援体制について 2. 教職員のカードポイント問題について	市 長 教育長
2	7番	新風未来の会 佐 久 間 儀 郎	1. 地域ブランドについて 2. フレイル予防と対策について	市 長
3	12番	新風未来の会 佐 久 間 順 子	1. 災害発生時の要支援者対策について	市 長
4	11番	新風未来の会 大 内 卓 也	1. 地域公共交通計画の施策推進について	市 長
5	6番	公 明 党 大 森 貴 之	1. 防災減災対策強化について	市 長
6	10番	新風未来の会 角 張 大 治	1. まちづくり協議会について 2. 白石地区地域づくりフォーラムの進め方について	市 長
7	1番	日 本 共 産 党 佐 藤 龍 彦	1. 会計年度任用職員の処遇について 2. 公立刈田総合病院と地域医療について	市 長
8	13番	新風未来の会 村 上 由 紀	1. 災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について	市 長
9	3番	自民市民の会 伊 藤 勝 美	1. 市長の政治姿勢について	市 長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 5 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	8 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 能登半島地震に対する支援体制について (1 / 2)

【質問項目】

- (1) このたびの震災をどのように受け止めているかを伺う。
- (2) 本市としてどのような支援体制を取っているかを伺う。
- (3) 被災地からの要請に基づいて支援を行っているのかを伺う。
- (4) 支援先はどのようにして決定したのかを伺う。
- (5) 被災地からはどのような要請があったのかを伺う。
- (6) どのような支援内容かを伺う。
- (7) 被災地に赴任する職員はどのようにして選ぶのかを伺う。
- (8) 支援にあたる期間はどれくらいなのかを伺う。

【質問要旨】

本年 1 月 1 日に発生した能登半島地震は、石川県各地に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々には心からお悔やみを申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

災害発生と同時に全国各地から救援支援の手がさしのべられております。地震に限らず水害など大規模災害発生の際には被災地に対して全国からいち早く支援の手が差しのべられることはすばらしい事だと思います。

本市においても支援体制をとっておられることと思いますがその内容についてお伺い致します。

- (1)このたびの震災をどのように受け止めているか伺います。
- (2)本市としてどのような支援体制を取っているか伺います。
- (3)被災地からの要請に基づいて支援を行っているのか伺います。
- (4)支援先はどのようにして決定したのか伺います。
- (5)被災地からはどのような要請があったのか伺います。
- (6)支援には人的支援と物質的支援等がありますが、どのような内容で行っているのか伺います。
- (7)被災地に赴任する職員はどのようにして選ぶのか伺います。
- (8)支援にあたる期間はどれくらいなのか伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 5 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	8 番 四竈 英夫
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 教職員のカードポイント問題について (2 / 2)

【質問項目】

- (1) 教職員のカードポイント問題の所見を伺う。
- (2) 教職員のカードポイント問題に対する対策を伺う。

【質問要旨】

新聞報道によれば県内小中学校で、授業や部活動で使う物品を購入する時、代金の一時立替払いを行う際個人のクレジットカードや購入する店のポイントカードを使用していた事例があったことが指摘されました。2020年～2022年まで、県内17市町100校で248件あったとのこと。

- (1)このことについての所見を伺います。
- (2)このようなことが発生しないようどのような対策を講じたか伺います。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 5 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	7 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 地域ブランドについて (1 / 2)

【質問項目】

- (1) 地域ブランドについての見解を伺う。
- (2) 地域ブランド開発についての所見を伺う。
- (3) 地理的表示法による登録を積極支援してはどうか。
 - ① 白石温麺について
 - ② ころ柿・樽柿について

【質問要旨】

(1)地域ブランドは、地域を主に経済的側面から捉えたときの、生活者が認識するさまざまな地域イメージの総体。単に商品の品質を強調するだけでなく、その地域独自の文化、歴史、資源に基づく価値を伝えることに意義があり、地域固有の文化や地理的特性などが商品に組み込まれていることで消費者は外にない魅力を感じるものと言われます。地域ブランドについてのご見解を伺います。

(2) (仮称)道の駅しろいしの開設に向けて、諸手続が進んでいると思いますが、物品販売施設・飲食施設が賑わいの中核になり、農産物も含め他の道の駅と差別化できる物販が求められと思います。ついては開設時に標準を合わせて地域ブランドの開発が求められますが、ご所見を伺います。

(3)国の制度である地理的表示 (GI) 保護制度の登録を積極支援すべきものと考えます。

①白石三白プロジェクトで認証されている商品の多くは伝統の白石温麺であるとの印象です。白石温麺について「ここにしかない！」を証明し国が守ってくれる地理的表示保護制度に登録しGIマークの取得を積極支援すべきと考えますが、ご所見を伺います。

②ころ柿・樽柿も特産品として地域ブランドに推奨できると思います。渋柿を材料としてつくられる干し柿は「市田柿」や「能登志賀ころ柿」の先行事例があります。GIマーク取得について本市ころ柿組合の関心は深いと考えます。行政の関与支援の状況を伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 5 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	7 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. フレイル予防と対策について (2 / 2)

【質問項目】

- (1) 平均寿命と本市の健康寿命との年齢差を伺う。
- (2) フレイル予防と人材育成の具体手法を問う。
- (3) フレイルチェックを市民運動に高めることの所見を伺う。

【質問要旨】

高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の一体的計画素案が示されました。健康寿命を延ばすことは、人生の最後まで自分らしく生活を楽しみながら暮らすことができ、また、介護を必要とする人は少なくなり、結果として市全体として介護保険サービスにかかる費用を抑えることにつながります。要介護状態になってから回復しようとするよりも、その手前の状態で気付いて対策をとれば効率上がり、回復できる幅も大きくなります。病気ではないけれど、年齢とともに筋力や心身の活力が低下し介護が必要になりやすくなる、健康と要介護の間の虚弱な状態といわれるフレイル予防と対策が健康寿命延伸につながると考えます。

(1)平均寿命と本市の健康寿命との年齢差について、男女別にお知らせください。

(2)計画書67頁1(1)の③では「高齢者自身が担い手となる活動の場や住民主体の通いの場の創設、担い手の養成に取り組み、フレイル予防と人材育成を図る」としていますが、その具体手法をどのように考えているか伺います。

(3)フレイル予防には、健康長寿のためにも「栄養」「社会活動」「運動」の3つが重要と言われます。東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授提唱の「フレイル予防ハンドブック・フレイルサポーター養成テキスト・フレイルトレーナー養成テキスト」を活用して人材育成とともにフレイルチェックを市民運動に高めるべきものとするが、ご所見を伺います。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	3 番
議員名	12 番 佐久間 順子
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 災害発生時の要支援者対策について (1 / 1)

【質問項目】

- (1) 避難行動要支援者名簿の状況について
 - ① 個人情報の取り扱いについて
 - ② 協力員への支援について
- (2) 個別避難計画について
 - ① 作成状況について
 - ② 計画作成率向上の推進について
- (3) 災害時における要支援者の避難について
- (4) 今後の方針について

【質問要旨】

能登半島地震被害では甚大な被害があり、報道で被災者の過酷な避難状況が映し出されております。特に、高齢者や障害者は、自力で避難することが難しく、情報の提供、避難の方法、避難生活等の様々な場面において支援が必要です。災害対策基本法により自治体で義務化されている避難行動要支援者名簿のほか、個別避難計画の作成状況や災害時における要支援者の避難についてお伺いします。

(1) 避難行動要支援者名簿の状況について

- ① 個人情報の開示に同意がない方で要支援者に該当する方への支援はどのように行うのかお伺いします。
- ② 避難行動要支援者に協力する支援者（協力員）はどのような方か（地域の自治会、民生委員・児童委員など）。また、協力員に対する行政からの支援などはあるのでしょうか。

(2) 個別避難計画について

- ① 計画の作成率は23%ですが、計画の状況及び作成率について、市長の所見をお伺いします。（災害時に実効性のある計画か、他の自治体と比較した場合作成率は低くないかなど）
- ② 作成率向上のため、特に何を実施しているのかお伺いします。（行政の役割や関わり方、作成率の向上など）

(3) 災害時における要支援者の避難について

要支援者の避難の方法、関係団体等の連携の状況などをお伺いします。

(4) 今後の方針について

(1)から(3)の状況を踏まえ、要支援者対策に対する課題や今後の方針をお伺いします。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	4 番
議員名	11 番 大内 卓也
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 地域公共交通計画の施策推進について (1 / 1)

【質問項目】

- (1) 計画策定にあたっての各地域のニーズ調査・集計・公表について
- (2) 計画をもとに具体的な年次事業計画を整備するかを伺う。
- (3) 実証実験後の公共交通のあり方へ構想は策定済みかについて
- (4) 隣接市町の公共交通相互接続は構想にあるのかを伺う。

【質問要旨】

公共交通の利用者減少を危惧しつつ、既存の公共交通では対応できない山間地域などでの住民主体の移動・外出サービスの必要性が地域公共交通計画にうたわれている。計画では「人口減少、少子・高齢化社会の進展に伴う需要変動に対する適切な対応、市民バスにアクセスする新たな支線交通などによる交通空白地域の解消、ニーズ・需要に応じた新たな交通モードの検討が喫緊の課題」を目的とし、各公共交通の役割整理と検討の視点では、高齢者などの通院・買い物への移動支援に「公共交通と福祉政策と連携して検討」と記載がある。

地域課題である交通弱者の支援について、ターゲットごとの分散した事業展開では限界が生じており、本市計画が目指すところの公共交通施策全体での取り組みが肝要と考える。先日、「おらいのくるま」が実証実験開始されたことは、第一歩になると捉えている。地域公共交通計画に基づく今後の事業推進について次の質問を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 防災減災対策強化について ① (1 / 1)

【質問項目】

- (1) 木造住宅耐震診断助成事業の実施について
 - ① 今後も事業継続の見込みはあるのかを伺う。
 - ② 対象家屋の基準（建築年）を緩和してはどうか。
- (2) 避難所の整備について
 - ① 建屋の耐震診断を改めて実施してはどうか。
 - ② 夏場の高温対策の現状及び今後の対策を伺う。
 - ③ トイレ設備の確保について
- (3) 内水氾濫への対応について
 - ① 内水氾濫発生地に排水ポンプ場を設置してはどうか。
 - ② 覆蓋側溝等の点検整備、内部清掃対応を伺う。

【質問要旨】

能登半島地震を踏まえ、当市の防災減災対策の見直し強化が必要と考える。

(1)①、②では今回の震災における家屋の倒壊から、当市で本年度も行われた耐震審査補助事業を、基準を緩和した上で継続実施すべきと考える。基準緩和の理由としては、二度の大震災による既存建物へのダメージが念頭にある。

(2)①指定避難所の耐震診断は実施されているのか。こちらも、二度の大震災による劣化増大に対応する為にも改めて実施すべきと考える。②は、近年猛暑となる夏場に災害が発生した場合、熱中症・高温対策の現状と、今後の対策について伺う。③今回の震災でもトイレの確保が問題となった。第一、第二小学校にはマンホールトイレがあるが、その他の避難所のトイレ対策について伺う。

(3)①これまでに内水氾濫が発生した地域に、排水ポンプ場を設置すべきと考える。②覆蓋されている側溝等は蓋を外しての点検清掃は住民では困難で、側溝内に土砂等による閉塞がある場合内水氾濫に結び付く危険があり、行政による対応が必要と考える。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 7 日

白石市議会議長 殿

質問順位	5 番
議員名	6 番 大森 貴之
会派名	公明党

【質問事項】 1. 防災減災対策強化について ② (1 / 1)

【質問項目】

- (3) 内水氾濫への対応について
 - ③ 市管理河川等の浚渫について
 - ④ 本流との合流点の整備清掃について
- (4) 市道の整備・拡張について
 - ① 緊急車両の通行に支障がない幅員の確保について
- (5) 配水管路耐震工事について
 - ① 耐震管への交換状況と今後の計画について
- (6) 帯状疱疹対策について
 - ① 帯状疱疹予防ワクチンの接種について

【質問要旨】

(3)③内水氾濫の大きな原因は流入する雨水等を河川が処理しきれない場合が多く、その要因の主なものは土砂等の堆積が挙げられる。市が管轄する河川の浚渫を率先して実施すべきと考える。④については、最終的には管轄河川等の流出（＝本流入り口）が支障なく行われること、逆流させないことが肝要である。合流点の点検整備を強く要望する。

(4)①災害発生時、交通の遮断が大きな問題になっている。地理的要因もあるが緊急車両の通行に支障が生じない程度に幅員を拡張すべきと考える。

(5)①配水管は耐震性の強い配管への布設替えを行っているが、現時点での進捗率及び今後の対応について伺う。

(6)①帯状疱疹発症は50歳以上で増加し、80歳までには3人に1人が発症するといわれている。又日本人の9割の方は帯状疱疹ウイルスを持っているともいわれている。健康長寿の観点からも予防ワクチンの接種補助を検討いただきたい。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	10 番 角張 大治
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. まちづくり協議会について (1 / 2)

【質問項目】

- (1) 次世代会議やフォーラムの狙いについて
- (2) まちづくり協議会の必要性について
- (3) 行政の負担軽減や地区住民の満足度向上について
- (4) 既存協議会の立ち上げプロセスについて

【質問要旨】

昨年の8月～12月にかけて白石地区のこれからの地域づくりについて意見交換を行うということで、10～20代の若者会議、30～50代の次世代会議、60代以上の熟練会議という世代別の会議が開かれました。そして、それらの会議を踏まえ本年1月18日に、ホワイトキューブで『白石地区地域づくりフォーラム2nd～白石地区の地域づくりを住民同士で膝をつき合わせて話し合う円卓談義～』が開催されました。サブタイトルのとおり、参加者同士が円になりテーマに沿って談義するものでした。次世代会議とフォーラムに参加させていただきましたので、会議やフォーラムの中身にも触れながら今後のまちづくりについて、今回は他の地区と違い現状まちづくり協議会のような組織の無い、白石地区の件も触れながらお聞きしたいと思います。

- (1)白石地区においてこのような会議やフォーラムを行った狙いをお伺いします。
- (2)白石地区においてもまちづくり協議会が必要であるという声が上がっているのかお伺いします。
- (3)白石地区以外でまちづくり協議会を立ち上げたことにより、行政の負担軽減や地区住民の地域活動の満足度というものは向上したのでしょうか。各地区の地域活動の状況を把握するのは難しいかもしれないので、行政側の負担の部分だけでもかまいません。
- (4)既存のまちづくり協議会の立ち上げ時は、どのようなプロセスで設置されたのかお伺いします。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	6 番
議員名	10 番 角張 大治
会派名	新風未来の会

【質問事項】 2. 白石地区地域づくりフォーラムの進め方について (2 / 2)

【質問項目】

- (1) 世代別会議で出た意見に対する講師・行政の考察について
- (2) フォーラムで出た意見に対する講師・行政の考察について
- (3) 会議等参加者への行政の後方支援について

【質問要旨】

白石地区地域づくりフォーラム 2nd で配布された資料では、昨年行われた若者会議・次世代会議で出た意見として「活動の目的や意義・内容・これまでの雰囲気など基本的なことが分からない」「どんな活動・仕事があるのか・実施しているのかが伝わってこない」「大変さ・負担感ばかりが伝わってきて、やりがい・達成感が感じられない」等が挙げられております。

特にその点に関するフィードバックがないまま住民同士の談義が始まりましたが、これらを解消しないまま住民同士で話し合っても方向性が見えないことが課題であると感じました。そこで、以下の点についてお伺いします。

- (1) 講師兼コーディネーターの方が、昨年行われた世代別会議で出た意見に関してどのような考察をされているかお伺いします。また同様に、行政としてはどのように考察されたかお伺いします。
- (2) 今回行われたフォーラムで、参加者同士が話し合われた内容（意見・感想など）を集約していればお伺いいたします。また、それに対する講師と行政の考察も併せてお伺いします。
- (3) 次回の会議・フォーラムが開催されるのであればフィードバックが重要と考えます。これまでの参加者から出た意見に関する考察や今後に向けたアドバイス、会議を開催する狙い等を明確にした上で進めていく必要があると考えますが、そのような后方支援（考え方・方向性を示すこと）の必要性について見解をお伺いします。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 8 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 1. 会計年度任用職員の処遇について (1 / 2)

【質問項目】

- (1) 本市の会計年度任用職員の人数を伺う。
- (2) 会計年度任用職員の給与改定の遡及改定について
- (3) 県内の会計年度任用職員の給与改定の遡及について
- (4) 本市の会計年度任用職員の給与改定の遡及について
- (5) 継続任用されなかった場合の再就職支援について

【質問要旨】

会計年度任用職員制度は、非正規職員の法的地位を明確にし、処遇改善を図るという趣旨で2020年に創設されました。会計年度任用職員は、1会計年度内を任期として任用され、業務繁忙期や職員に欠員が生じた時などに職員の補助として働く非正規の公務員のことです。そこで、本市の会計年度任用職員の処遇や現状についてお伺いいたします。

- (1)本市の会計年度任用職員の人数を伺う。
- (2)会計年度任用職員の給与改定について、遡及改定が基本とされていることについての本市の考えを伺う。
- (3)県内自治体において、会計年度任用職員の給与改定の遡及への対応は、どのようになっているのか伺う。
- (4)会計年度任用職員の給与改定の遡及について、本市はどのように対応しているのか伺う。
- (5)会計年度任用職員として継続任用されなかった場合、再就職の支援はされているのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 9 日

白石市議会議長 殿

質問順位	7 番
議員名	1 番 佐藤 龍彦
会派名	日本共産党

【質問事項】 2. 公立刈田総合病院と地域医療について (2 / 2)

【質問項目】

- (1) 昨年12月の医業収益が黒字となった理由について
- (2) 地元紙記事についての見解を伺う。
- (3) 昨年度と今年度の職員の残業時間を伺う。
- (4) 職員の働き方改革への対応について
- (5) 外科休日当番の担当医師の配置について
- (6) 今後の医師の採用予定について
- (7) 担当医師を市民に周知することについて
- (8) 公立刈田総合病院に市外から搬送された患者について
- (9) 公立刈田総合病院から再度搬送されたケースについて
- (10) 今後の公立刈田総合病院の救急体制について

【質問要旨】

公立刈田総合病院について、収支の改善がされているとの報道もある。しかし、その一方で看護師等の退職による人員不足も指摘されている。そこで公立刈田総合病院と地域医療についてお伺いいたします。

- (1) 昨年12月の医業収益が黒字となった理由について伺う。
- (2) 地元紙報道で「ここから先は黒字にしかならない」と経営に自信を見せたと記事にあったが、見解を伺う。
- (3) 昨年度と今年度の職員（医師、看護師、技師、事務等）の残業時間を伺う。
- (4) 職員（医師、看護師等）の働き方改革への対応について伺う。
- (5) 休日の外科当番において、担当医師の配置はどのようにされているのか伺う。
- (6) 今後、新たな医師の採用はあるのか伺う。
- (7) かつたほっとぶれずに担当医師を掲載することは考えていないのか伺う。
- (8) 今年度、公立刈田総合病院に白石市以外から緊急搬送されてきた患者数について伺う。
- (9) 公立刈田総合病院に緊急搬送され、対応が困難等の理由から、他の病院に再度搬送されたケースはどれくらいあるのか伺う。
- (10) 今後、公立刈田総合病院の救急体制をどのように維持していく考えなのか伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 9 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について ① (1 / 1)

【質問項目】

- (1) 女性や妊産婦・乳幼児への避難所体制について
 - ① 女性や妊産婦用品の備蓄状況について
 - ② 乳児に特化した備蓄品について
 - ③ アレルギー対応の食糧備蓄品について
 - ④ 女性に配慮した設備について
 - ⑤ 避難所への女性職員配置について
 - ⑥ 妊産婦への物資配布・情報伝達について

【質問要旨】

内閣府の調査では、地震などの災害時に避難生活を送る女性や、妊産婦、乳幼児向けの用品について全国の自治体で備蓄が進んでいないことが公表された。そこで、本市の避難所等の整備状況を伺う。

- (1)女性や妊産婦・乳幼児への避難所体制について
 - ①女性や妊産婦用品の備蓄状況：企業との災害協定の有無等含め伺う。
 - ②乳児に特化した備蓄品：乳児の離乳食・肌着など必要な用品について整備していくことは大変重要であるが、発育に応じての用品であるため全て揃えるのは現実的に考えても難しいと思う。やはり企業と災害協定を結ぶことが必要と考えるがどのように整備していくのか伺う。
 - ③アレルギー対応の食糧備蓄品：食物アレルギー対応の食糧備蓄品も必要と考えるが揃えてあるか伺う。
 - ④女性に配慮した設備：男女別更衣室や授乳室、女性専用用品の配布スペースなどについて、設置するよう避難所マニュアルに記載があるか伺う。また、トイレの設置も男女別に設置することを検討されているか伺う。
 - ⑤避難所への女性職員の配置：女性や妊産婦・乳幼児らが避難所で安心して相談できるように、女性職員配置を考慮しているか伺う。
 - ⑥妊産婦への物資配布・情報伝達：母子手帳交付時に、本市限定の災害対応リーフレットを渡してはどうか（救急対応・避難所情報・支援物資の配布方法等を記載したもの）また、最新の情報を自ら取りに行く手段として、安心メール・公式アカウント・LINE等の登録を窓口で積極的に案内してはどうか。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 9 日

白石市議会議長 殿

質問順位	8 番
議員名	13 番 村上 由紀
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 災害発生時の女性や妊産婦・乳幼児への対応について ② (1 / 1)

【質問項目】

- (2) 災害発生時の刈田総合病院の体制について
 - ① 妊産婦・乳幼児の救急受け入れ体制について
 - ② 緊急事態への備えの設備点検、職員の研修・周知について
 - ③ 補助電源について
 - ④ 水の確保（地下水を含む）について
- (3) 女性向け災害支援センターの設置について
- (4) 妊産婦や乳幼児の避難体制の整備について

【質問要旨】

- (2)災害発生時の刈田総合病院の体制について
- ①妊産婦・乳幼児の救急受け入れ体制：周産期医療の整備体制は構築されていないが、災害発生時の受け入れは可能か伺う。
 - ②緊急事態への備えの設備点検、職員の研修・周知：有事に備え、妊産婦受け入れに必要な設備の点検、また、職員の研修や周知徹底を図ることが重要と考えるが、体制整備をどのようにしていくのか伺う。
 - ③補助電源・④水の確保（地下水を含む）：災害発生時の医療等に必要な、電気・水の確保はどのようになっているのか伺う。
- (3)女性向け災害支援センターの設置について
女性（母子）向け災害支援センターの設置が必要と考えるが市長の見解を伺う。
- (4)妊産婦や乳幼児の避難体制の整備について
妊産婦や乳幼児の避難体制の整備について市長の見解を伺う。

【答弁を求める者】 市長

一般質問通告書

令和 6 年 2 月 9 日

白石市議会議長 殿

質問順位	9 番
議員名	3 番 伊藤 勝美
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 市長の政治姿勢について (1 / 1)

【質問項目】

- (1) 市長2期目の市政運営における実績と自己評価について
 - ① 刈田病院の充実について
 - ② 特色ある教育環境実現について
 - ③ ふるさと納税の活用について
 - ④ 都市ネットワーク整備について

【質問要旨】

市長2期目の白石市長候補者選挙広報において、「市民とともに、さらに前へ！」、「国や県との強力な人脈を最大限に生かし、白石市発展を掴み取ります」そして、4つのお約束として「市民の健幸推進」、「子どもは未来の宝」、「豊かさを実感できるまちづくり」、「選ばれる白石市を実現」を掲げています。また、「地域医療の充実」と「企業誘致」を加速させますとも掲げられています。それから、当時のリーフレットにも、多少の文章表現の違いはあるものの、ほぼ同じ内容が掲げられています。

- ①市民の健幸推進のうち、刈田病院の充実について、具体的実績と自己評価を伺う。(リーフレットには「刈田総合病院での周産期医療復活と診療科の充実」とある。)
- ②子どもは未来の宝のうち、特色ある教育環境実現について、具体的実績と自己評価を伺う。(リーフレットには「教育特区や英語特区を取得し、義務教育学校の設置を目指し、特色ある教育環境を実現」とある。)
- ③豊かさを実感できるまちづくりのうち、ふるさと納税の活用について、具体的実績と自己評価を伺う。(リーフレットには「ふるさと納税を通じた新たな自主財源確保と返礼品による地場産品の育成と市民所得向上」とある。)
- ④選ばれる白石市を実現のうち、都市ネットワーク整備について、具体的実績と自己評価を伺う。(リーフレットには「都市計画街路事業を推進し、都市ネットワーク整備と投資環境の充実」とある。)

【答弁を求める者】 市長